

特集

PM 2.5 って何だろう？～川崎の大気環境～

PM 2.5 とは？

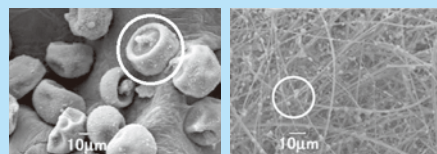
大気中に浮遊している粒子のうち、粒径 2.5 μm （マイクロメートル）以下の粒子を PM2.5（微小粒子状物質）といいます。

どうやって発生するの？

主に工場からのばい煙、自動車からの排出ガスの他に、火山などの自然由来によるものや、大気中で化学反応によって生成されたり、遠くから風によって運ばれてくるなど、様々な原因で発生します。

何が問題なの？

PM2.5 は非常に小さく、肺の奥深くまで入りやすいため、呼吸器系や循環器系への影響が心配されています。



【スギ花粉】

【PM 2.5】

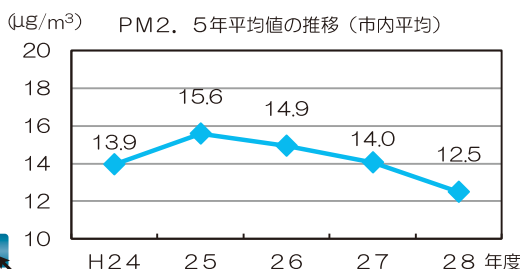
スギ花粉の大きさは一般的に 20～40 μm ですが、PM2.5 はそれよりはるかに小さいことが分かります。

市内における PM 2.5 などの大気環境の状況

川崎市では、大気中の物質の中で健康に影響のある、いわゆる大気汚染物質について、継続した常時監視及び対策を実施しています。

平成 28 年度においては、PM2.5 について初めて市内全測定地点で環境基準を達成するなど、大気環境は改善傾向にあります。一方、光化学スモッグ注意報が毎年発令されるなど、課題も残されています。（光化学スモッグ注意報は光化学オキシダント濃度が高くなると発令されます）詳細は市のホームページをご覧ください。

川崎市 平成 28 年度大気



環境基準とは…人の健康の保護及び生活環境の保全のうえで維持されることが望ましい基準

PM2.5 の環境基準：1 年平均値が 15 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であり、かつ、1 日平均値が 35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。

～PM2.5 の高濃度予報について～

川崎市では神奈川県と連携して、PM2.5 が高濃度になると予想された時に、市の防災行政無線やテレビ神奈川データ放送、FMラジオなどで情報提供し、注意を呼びかけることとしています。高濃度時は不要不急の外出を減らすなど慎重に行動しましょう。詳しくは市のホームページをご覧ください。

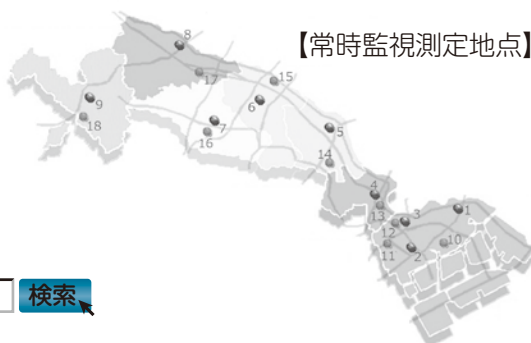
川崎市 高濃度予報

問い合わせ：環境局大気環境課

TEL 200-2516 FAX 200-3922

大気環境データを見てみよう！

市内の大気汚染の状況を把握するため、市内 18 地点において常時監視を行っています。測定データはリアルタイムで川崎市のホームページやテレビ神奈川のデータ放送でご覧いただけます。



【常時監視測定地点】

川崎市 大気環境情報



問い合わせ：川崎市環境総合研究所

地域環境・公害監視課

TEL 276-9096

FAX 288-3156

大気環境の改善に向けて（VOC対策）

PM2.5 及び光化学オキシダントの原因物質の 1 つに揮発性有機化合物（VOC）という物質があります。これは油性塗料、インクなどツンとくるにおいの原因でもあります。大気環境の改善に向け、川崎市は VOC 排出抑制の取組を推進します。塗料、接着剤などを使用する際は VOC が少ない水性製品を選ぶなど、ちょっとした心がけが VOC 排出抑制につながります。



問い合わせ：環境局大気環境課

TEL 200-2516 FAX 200-3922